

2022

秋号

福井市議会議員

八田いちい

議員活動報告



2022秋号

発行者 八田一以

〒910-0826 福井市上中町29-38-1

Tel 090-4680-0849

Fax 0776-54-0849

福井市の発展

市民の幸福

八田一以



議会選出の

監査委員就任ごあいさつ

【令和4年5月臨時議会】

臨時議会において、今年度の議会代表の監査委員に選任されました。皆様ご存知の通り、福井市は財政再建計画の目標達成に注力しているところであり、また、新型コロナウイルス感染症対策にまい進しているところですが、コロナの影響によって我が国全体の経済が低迷して本市税収にも悪影響が及んでおります。一方では、北陸新幹線福井駅開業に向けて、中心市街地再開発等に大きな財政支出を継続しています。又令和4年4月、本市は「行財政改革指針」を改訂し今後5年間の市政運営の方向性を示しました。デジタルトランスフォーメーション(DX)にも積極的に取り組み、大きな投資が必要で、こういう状況にあっても、本市の財政再建は着実に進めなければならぬと考えつつ、監査委員の職責を果してまいります。

なお、監査委員在任中は、慣例によって、定例議会、予算特別委員会等で質問に立ちませんが、要望等がある場合は、今まで通り、私宛に申しつけて頂きたいと思えます。従来通り迅速に対応いたします。

市議会議員二期8年の成果

1

皆様からの要望

毎年、皆様から様々な要望を承ります。一年間に約120件(月10件)のペースで、8年間で約千件の要望を、お受けしました。成果：七割五分程度の要望が叶いました。

2

福井市と東藤島地区の発展と市民の幸福

① 勝山街道の東藤島地区の道路幅拡幅  
成果：令和4年度、道路幅拡幅「概要設計」予算450万円が初めて計上。昭和45年都市計画道路として拡幅が計画されてから52年目。初めて実施に向け前進しました。

② 福井北ジャンクション・インターチェンジ

周辺の開発促進のための治水対策  
成果：古川排水路の改修は、福井県が負担し主導して実施することが決定しました。令和4年にボーリング調査がスタートしました。荒川の治水は、間山町下の堤防の嵩上げ、浚渫を継続実施し、重立町遊水池の滞留水のポンプアップも実施予定です。

③ 東藤島地区の公共下水道工事の進展

成果：昭和36年に東藤島地区が福井市に編入時以来の地区の宿願は、令和6年度に全町において工事が完了する予定です。

④ えちぜん鉄道越前島橋駅の整備

成果：駐車場30台稼働、駅トイレ予定。

## デジタルトランスフォーメーション

## (DX)と全域交通ネットワークについて

【令和3年6月一般質問】

えちぜん鉄道越前島橋駅にはトイレがありません。越前島橋駅前後の七つの駅のなかで、何故か、越前島橋駅だけにトイレがない。越前島橋駅には、30台のパークアンドライド駐車場が整備されたのに、トイレがない。従来より地元からは強い設置要望があります。いかがでしょうか？

(桑原雄二都市戦略部長の回答)

本市では、えちぜん鉄道勝山永平寺線の越前島橋駅を乗継拠点に位置付けており、パークアンドライド駐車場の整備やライダーバス路線の接続を行ってまいりました。その結果、駅の利用者は年々増加しており、現在、東藤島地区にある3駅の中では最も利用者が多い駅となっております。

3年度新たに策定する「えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画」の中に、越前島橋駅のトイレ整備を位置付けます。

越前島橋駅周辺の公共下水道事業に合わせ、早ければ4年度にも取り掛かれるよう、地域住民とえちぜん鉄道と調整してまいりたいと考えております。

課題：トイレの設置場所や公共下水道工事の進捗状況をトレースしてまいります。

2021. 9. 15  
予算特別委員会2021. 9. 7  
一般質問2021. 9. 7  
一般質問2021. 8. 15  
全国戦没者追悼式

## デジタルトランスフォーメーション

## (DX)と都市計画道路について

【令和3年9月一般質問】

都市計画道路松岡菅谷線の東藤島地区における未整備区間の整備に関して、この秋、道路交通センサス調査が予定されています。この調査を踏まえて、東藤島地区の都市計画道路整備事業が来年スタートする第八次総合計画実施計画に計上され、来年度の「重要要望」に記載されることを期待しております。ご見解をお伺いいたします。

(増永孝三建設部長の回答)

東藤島地区2.2キロメートルにつきましては、早期の事業化が必要と考えております。3年11月に事業化に向けて必要となる交通量調査を道路交通センサスにて実施する予定です。調査結果を基に、車線数や交差点形状等の整理を進め、現在策定中の第八次総合計画の実施計画に計上する予定です。

なお、事業を進めるためには、多額の費用を要することから、来年度より本市の「重要要望」に記載し、国や県などの関係機関に対して要望してまいりたいと考えております。

課題：令和4年度予算に「概要設計費」450万円が計上され事業がスタート。多額の費用の調達や、都市計画変更手続き、測量実施等、長期にわたりトレースが必要。

## 東藤島地区への避難指示について

【令和3年9月予算特別委員会】

3年8月14日、東藤島地区に避難指示が出ました。避難指示の判断根拠を教えてください。

（廣瀬峰雄市長の回答）

本市避難情報の判断基準及び伝達マニュアルに基づき、荒川の原目水位局の水位が氾濫危険水位2メートルには達していないものの、避難判断水位1.8メートルを超え、洪水警報が発表され、さらに水位が上がって氾濫のおそれがあるので、避難指示要と判断したものです。

原目水位局の水位は、朝7時に1.88メートル。確かに避難判断水位1.8メートルを超えました。妥当な判断だと思えますが、原目の上流も下流でも全く危険な水位にならなかった。そもそも荒川の治水が東藤島地区で遅れているということが、当地区に避難指示が出た根源的な原因であり、理由だと思えます。

では、氾濫のおそれとはどういう意味か？堤防から越水または決壊し、人家に被害が及ぶと想定されるということでしょうか、どこで越水し決壊し、どこの町の家屋の床上・床下浸水を想定したのか？重立町、間山町、上中町、追分町、原目町のうち、どこですか？

（市民生活部長の回答）

氾濫のおそれとは、議員の言う通りです。床上・床下浸水の想定は東藤島地区内の荒川流域の周辺です。本市と永平寺町近辺といえますか。



2021. 12. 16  
建設委員長報告



2021. 12. 9  
一般質問



2021. 11. 3  
岡倉天心顕彰祭



2021. 9. 22  
建設委員長報告

朝9時には、もう相当水位が下がりました。避難指示の解除はもっと早くできたのでないか？

（市民生活部長の回答）

朝10時には避難判断水位内でしたが、氾濫注意水位1.5メートルになるまで待ちました。

避難指示は勧告と違って強制性がありますか？

（市民生活部長の回答）

強制性はありません。避難を促すものです。

今回の避難指示は、東藤島地区全域に出されましたが、不必要だったと思います。洪水ハザードマップで見ても、荒川の氾濫はえちぜん鉄道の北側の東藤島地区には全く影響が及ばない。

（市民生活部長の回答）

全域への発令は妥当と考えます。地区のどの範囲まで被害が及ぶか判断するのは困難です。

私は妥当じゃないと思う。今回の避難場所は東藤島小学校1カ所だが、大東中学校や民間の高いビルに行く等、住民に推奨し、周知していただきたい。

荒川の治水は東藤島地区で最も遅れています。川底からたった2メートルで氾濫危険水位になる。荒川の所管は福井県なので、本市から県に、東藤島地区の治水に努めるよう、要望して欲しい。また重立町の遊水池は機能していない。池にポンプアップ設備を設置するべきです。

（増永孝三建設部長の回答）

ご指摘の改善等を含めて荒川改修の早期完成を強く要望いたします。



## デジタルトランスフォーメーション (DX)と産業振興について

【令和3年12月一般質問】

令和3年9月、福井市産直ECサイト「ふくいさん」がスタートした。東藤島地区の誇り、そば打ち名人九頭龍工房安久義二さんが出品しています。本市のチャレンジ、新事業が大きく発展することを期待します。課題は何でしょうか？  
(清水拓農林水産部長の回答)

立ち上げたばかりなので、課題は本サイトの認知度の向上です。これまでの取組の効果検証と福井ならではの商品の掲載により、他サイトとの差別化を図るなど、魅力度向上に努めます。

## デジタルトランスフォーメーション

(DX)について

【令和4年3月一般質問】

令和4年4月にスタートする、第八次福井市総合計画、行財政改革指針、DX推進計画に、大きく期待し心から応援したい。

縦割りで前例踏襲の色濃いこの総合計画は、停滞が続く本市経済の写し絵である。しかし、行政デジタル化を計画の軸として推進するならば、本市全体にDXを波及させるチャンスだ。

(西行茂副市長の回答)

本計画の目標達成のため、最大限、努力する。



2022. 5. 17  
監査委員就任挨拶



2022. 3. 23  
建設委員長報告



2022. 3. 4  
自衛隊入隊者激励会



2022. 3. 2  
一般質問

## 市議会議員二期8年を振り返る

今回の「議員活動報告」は、「市議会議員二期8年の成果」を中心に掲載しました。

記載してみても気づくことは、成果は二期目が大半であることです。例えば、勝山街道の拡幅工事開始については、一期目当選時から目標でしたが、当初は全く気配もなく途方に暮れました。しかし、継続的に要望活動を行ったことや理事者関係者の支援、時の運等で、二年前の6年目に初めて一歩前進したのです。

私は、もともと東藤島地区の発展が福井市全体に及ぶ、そうして皆が幸福になるのだと確信しております。福井市の東部は交通の要衝で、福井市、福井県は福井北ジャンクションインターチェンジ周辺の開発を起爆剤として発展するのだ、東藤島地区は、豊かな自然と素晴らしいコミュニティを維持しつつ、高い利便性を得て、福井市内の「田園都市」になるはずだ、しかし、そのための基本的なインフラが決定的に不足している、と考えております。インフラ整備による利便性の向上が、市議会議員としての私の基本的な目標です。

そして、二期8年の成果、とは言うものの、勝山街道の道路幅拡幅をはじめ全ては、今後の展開を注視し、長期的にトレースしていく必要があります。予定通りいかない事態もあると考えるからです。

皆様の強く温かいご支援のもと、議員生活8年目になりました。多くの皆様にお会いして、ご指導、ご叱責を頂き、私は今も日々成長していると実感し、感謝しております。今後とも宜しくお願い申し上げます。